

桜工

日本大学工科校友会

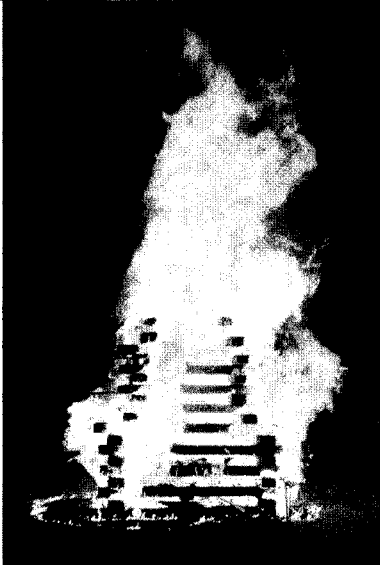
No. 69 1987

目次

工学祭から 習志野祭 へ 大江戸祭	2
昭和10年代の工学祭・学園開校時の工学祭	2～3
戦時下の「工学祭」	4
昭和20年代後半から30年代にかけての工学祭	5
学祭と雑感・「私の工学祭」	6～7
習志野祭報告	9
木村先生のご逝去を悼んで	11
部会だより	
土木・建築・機械・電気・工化	12～14
薬学・物理・数学・交通・精機	15～17
海建・航宇・電子	17～18
クラス会だより	
土木・機械・電気・工化・交通	19～24
教室からのお知らせ	25
地方支部だより	
北海道・秋田県・山形県・群馬県	26～28
栃木県・埼玉県・石川県・長野県	28～31
大阪府・愛媛県・佐賀県・長崎県	31～33
職域支部だより	34
事務局からのお知らせ	37
事務局からのお願い	38
正会員終身会費60年度納入者	38
昭和59年度終身会費納入者	41
地方支部職域支部一覧表	43～44



空から見た理工学部1号館周辺



◎日本大学工科校友会誌委員

委員長 佐川 廣司（機械）
副委員長 藤田 幹（建築）
副委員長 長江 啓泰（機械）
委員 木村 吉巳（土木）
委員 近藤 勉（土木）
委員 伊藤 堅（機械）

委員 富岡 義隆（電気）
委員 南山 斎（工化）
委員 越智 健二（工化）
委員 岡村 信（薬学）
委員 青木 正忠（薬学）
委員 小西 和夫（交通）

委員 清岡 進（精機）
委員 野木 靖之（物理）
委員 川岸 正樹（数学）
委員 網野 敬司（海建）
委員 谷口 重範（海建）
委員 石山 元雄（建築）

編集後記

前委員会より引き継いだ当委員会も今号が最後の発行となりました。初回の66号では前号からの続きの《変貌するキャンパス周辺》を主に取り上げ、68号では「クラス会だより」を新たにもうけ、又郵送料の節約の為変形B5判にしました。今69号では、予算の増額も認められ44頁に増加し、より多数の原稿を掲載出来る様になりました。

次期委員での母校と校友を結ぶ機関紙として増々充実した紙面になる様、大いに期待しています。最後に各号の発行にあたり御投稿いただいた校友諸氏の御協力に深く感謝いたします。

昭和62年3月25日発行

発行所 日本大学工科校友会

編集・発行者 佐川 廣司

東京都千代田区神田駿河台1-8

電話 03-293-3251 内線 206

振替 東京 3-162710

印刷所 有限会社 ムサシノ 総合印刷